

ドライバーに 安全運転訴え

渡辺組

【北見】渡辺組(本社・遠軽、渡辺博行社長)は17日、本社前の国道242号沿いで交通安全街頭啓発に取り組み、ドライバーに安全運転を呼び掛けた。写真。



同社は、毎年夏と秋の交通安全運動期間中に啓発活動を実施。今回は40人が参加した。開始前に渡辺勉副社長が、小樽や砂川で起きた悲惨な交通事故に触れ、「絶対に事故を起こさないという気概を持ってもらいたい」と要請した。

参加者は、沿道に整列しスピードダウン励行などを促すのぼりや横断幕を掲揚。遠軽警察署の協力を得て車両を誘導し、交通安全リーフレットや「飲酒運転禁止」と印字したうちわなどが入った袋80セットをドライバーに手渡した。

交通事故の根絶訴え

渡辺組が交通安全街頭啓発

ドライバーにグッズ配布し

【網走発】これから夏と秋の全国運転でノー（無）渡辺組（遠軽、渡辺博行社長）は十七日、町内を走る国道二四二号沿いの同社本社前で交通安全街頭啓発を実施。渡辺勉副社長らが道行くドライバーに交通安全グッズを配布し、交通事故根絶へ協力を求めた。

同社では、夏と秋の全国交通安全運動に合わせて、平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。ことしで



九年目、十七回目を迎えた今回の活動には、役員や作業員ら四十人余りのほか、遠軽警察署員と道警シンボルマスケット「ほくとくん」も参加した。

街頭啓発活動に先立ち、渡辺副社長があいさつ。砂

川や小樽での交通事故を例

に、「飲酒運転は絶対しないように」と強調し、仕事

でも私生活において車の運転に気を付けるよう呼びか

けた。また、遠軽警察署の

大島貞夫署長は、交通事故

発生状況を説明しながら、「

「尊い命を守るためには、

交通マナー・モラル、ルールを順守することが大切である」とした上で、「息の長いこの取組に感謝してい

る」と述べた。

このあと、街頭啓発活動をスタート。遠軽署の警察

官が通行車両を誘導し、渡

辺副社長や大島署長らが、

自社で作成したクリアファイルやリーフレット、ペッ

トボトルのお茶、うちわを

詰め合わせた交通安全グッズ百セットを配布し、写

真し。「運動期間中です。安全運転をお願いします」などと声をかけながら、ド

ライバーに交通事故の根絶を訴えた。

このほか、参加者全員が

国道沿いに整列。スピード

ダウンの励行、シートベル

ト着用の徹底を訴える横断

幕や、「飲酒運転根絶」「交通安全」などと書かれたの

ぼり旗を手に、安全運転を

啓発した。用意したのぼり旗は活動終了後、各現場などに持ち帰って掲揚する